

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2016年12月20日

2017年の経営見通し

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 俵山初雄、以下しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「2017年の経営見通し」をまとめましたのでご案内します。

1. 調査概要

- 調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 546 社
調査方法 調査表による面接聴取法
調査時期 2017年12月1～9日
回収状況 調査数 546 社 回収数 542 社（有効回答率 99.3%）

2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

①2017年の日本の景気 約半数が16年比悪化を予想

2017年の日本の景気をどのように見通しているかをたずねたところ、「良い」と回答した企業は8.9%にとどまり、「悪い」の50.7%を41.8%下回った。昨年調査（2016年の見通し）と比較すると、「良い」が減少（12.1→8.9）する一方、「悪い」が5.2%増加（45.5→50.7）した。

②自社の業況 16年とほぼ横ばいでの推移を見込む

2017年の自社の業況については、「良い」=13.6%、「普通」=48.1%、「悪い」=38.4%となり、「悪い」が「良い」を24.8%上回った。昨年調査との変動幅は小さく2016年とほぼ横ばいで推移すると見込んでいる。

③売上増加を見込む企業が、減少見込み企業を上回る

自社の売上見通しを2016年と比較すると、「増加する」=34.6%、「変わらない」=37.4%、「減少する」=27.9%と「増加する」が「減少する」を6.7%上回った。

業種別にみると、二輪車部品製造、自動車部品製造、卸売、小売、不動産は「増加する」が「減少する」を上回った。繊維製造、機械製造、建設は「増加する」が「減少する」を下回った。楽器製造は「増加する」と「減少する」が同率だった。

④マイナス金利政策の影響は「どちらともいえない」が約半数

日本銀行が行っているマイナス金利政策の影響についてたずねたところ、「どちらともいえない」が51.9%と約半数を占めた。次いで「よくわからない」の26.4%となり、この2つを合計した『影響はない』は、78.4%となった。「良い影響がある」(4.8%)と「やや良い影響がある」(11.6%)を合わせた『良い影響』は16.4%となり、「悪い影響がある」(0.9%)と「やや悪い影響がある」(4.3%)を合わせた『悪い影響』の5.2%を11.2%上回った。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館5階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵

TEL 053-452-1510

mabuchi@shinkinkeizai.jp